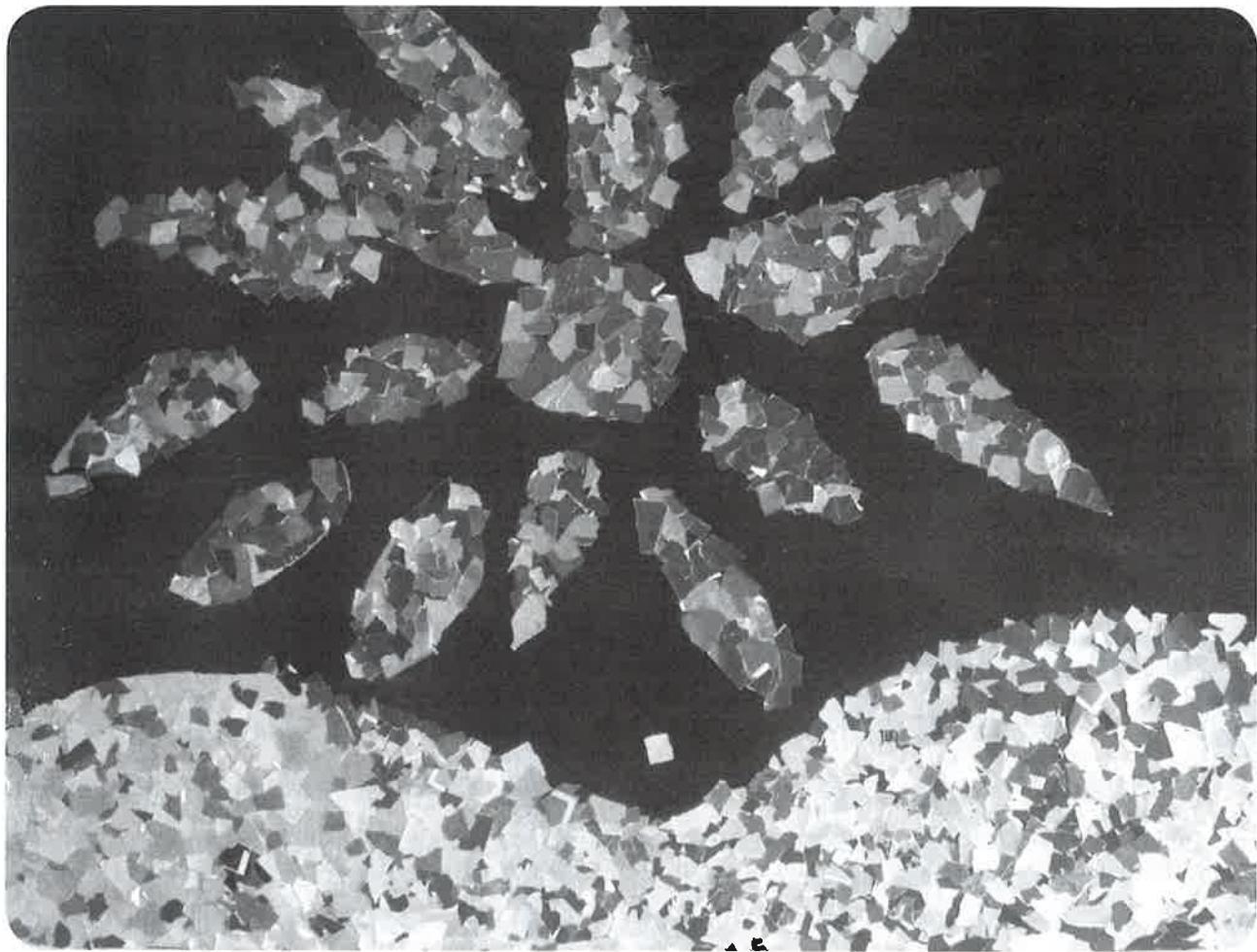




第35号

○発行年月日
平成28年7月30日
○発 行
社会福祉法人
安房広域福祉会
〒294-0231
千葉県館山市中里288-1
TEL 0470-28-2422
FAX 0470-28-2424
<http://www.nakazato.or.jp/>



「花火」

ボランティアのお知らせ

お問い合わせ先・連絡先

■中里の家

館山市中里 288-1
TEL 0470 (28) 2022
FAX 0470 (28) 2023
nakazato-ie@minos.ocn.ne.jp

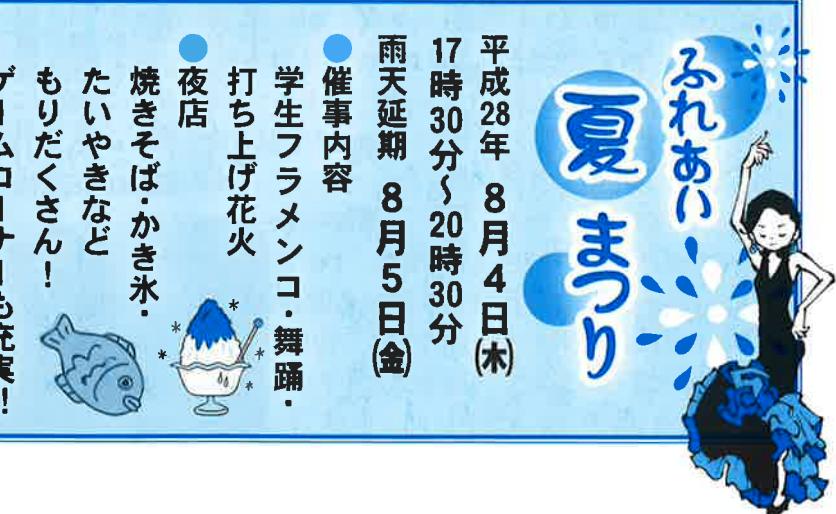
■中里ワークホーム

館山市中里 291
TEL 0470 (28) 2422
FAX 0470 (28) 2424
nakazato-workhome@m2.dion.ne.jp

平成28年 8月4日(木)
17時30分～20時30分
雨天延期 8月5日(金)

●催事内容

学生フラメンコ・舞踊・
打ち上げ花火
夜店
焼きそば・かき氷・
たいやきなど
もりだくさん!
ゲームコーナーも充実!!



進む本法人の再建策

理事長 武田 金市郎

川名本部事務局長ありがとうございました。

中里ワークホーム施設長

岡田 義之

昨年五月当法人の会計職員による七年間にわたる横領事件が発覚しました。金額は全て回収しましたが、当法人の組織・運営面で課題が明白になりました。

この件について、監督官庁である館山市や千葉県から事情聴取を受け、改善事項を示されました。

それらを基に、本法人の抜本的改革に取り組みました。

本法人は昭和六十二年に「中里の家」一施設(利用者五十名)で発足し、現在は九施設(利用者約二百五人、職員数約百三十名)に成長しました。その間組織や運営面での大きな改正はなされずにきたことが前述の不祥事を招いた大きな要因と考えられます。そこで、実態に即した「組織」のあり方、職員相互が機能的に活動できる「運営」のあり方を役員、職員それぞれ検討を重ねてきました。

1、組織の責任分担の明確化

一部の管理的職員に一局集中の傾向のあつた内容を数名で分担して行う——責任の明確化

2. 会計・事務職員の増置

前項1に共通するが、創設以来一名で担当した会計、庶務の職員を一名増置。複数の目のチェックの効果。

3. 内部監査の充実と外部監査の導入

職員代表と理事代表の2名による内部監査を2回実施。また昨年度から外部第三者機関の「評価」を導入。

4. 職員の資質の向上——高資格取得の支援

当法人は職員の資質向上のため介護福祉士の資格取得者にそれには必要な費用の一部を支援。

5. 各種研修の強化・充実

前項3にも共通するが、各分野における専門性が日進月歩するなか研修は必須の条件。

研修の基本は「自己研修」。

それを補う方法が「施設内研修」、それをもつと広める研修が「外部研修」です。先ず基本

平成24年から3年7か月間、川

名房吉様には本部事務局長として当法人にご尽力いただきました。就任以来、法人運営はもちろんワークホームの作業のお手伝い

や、特に「どくだみ茶」製造の「どくだみ」を持ってきて、いただいた

り、水田の草刈りにも参加くださいました。また利用者の方々との交流でも希望される方の学習のアドバイスや、特にはお昼休みにグランドでキャッチボールと交流を持つてください、皆さんから親しまれていました。

特に法人運営については、当法人での事件に対応や、その後の改善にご尽力頂き現在の法人運営の適正化を実現してくださいました。

理事としての任期はありますので今後もより良き法人並びに施設運営にお力添えをお願いする

とともに、これまでの功績に深く感謝申し上げます。

就任にあたって 鎌田 洋司



日々感じています。

皆様にいろいろなことを教えていただきながら、限られた財源の中、利用者の皆様の安心を支え、法人が安定した経営を継続していくように努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

川名本部事務局長の後任として、6月1日から本部事務局長を仰せつかりました。

本年3月に38年間勤めた市役所を定年退職し、この職に就きました。まだ勤務したばかりで、分からることや戸惑うこともありますが、本部事務局長として重責を

新年度を迎えて

中里ワークホーム 次長 青山雄一

開所して21年目を迎えた「中里ワークホーム」では、4月から新しく3名のスタッフを迎えスタートしました。

今年度も「自他相愛」の精神「自分を大切に想うように他人も同じく大切に想うこと」に基づき、支援の提供に努めてまいります。

作業につきましては、昨年同様の「農産加工・製麺・依託」の3作業で進めていきます。また、農産加工作業では、水田の借用面積が6.3ヘクタールから8.05ヘクタールと大幅に増えました。製麺作業では、「和麺家中里」の食事営業と、依託作業では、ペン欄包・組立を行い、安定した仕事の提供と工賃アップを目指していきます。

施設整備では、入所利用者居室の壁塗装修繕と居住棟トイレのウォシュレット設置を予定しており、より生活しやすい環境を目指していきます。

また、夏祭りや一泊旅行等の各行事や祝日の余暇支援も利用者の方々のご希望や、季節の行事を取り入れ、皆様が楽しめる内容にしていきたいと思います。

以上を目標に、地域社会で必要とされる施設であるよう努めてまいりたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

各事業所から

～誰もが暮らしやすい地域へ～

障害者就業・生活支援センター中里
所長 杉村利之

今年度より、「障害者差別解消法」がスタートしました。企業側は従事者の障害特性に応じて、仕事を遂行しやすいようにしていくための合理的配慮を施さなくてはなりません。また、募集・採用・賃金に関して障害者であることを理由とする差別を禁止することなどが定められています。この法律の施行によって、障害ある方々にとっては、今まで以上に働きやすい職場環境が整備されるとともに、社会自立という目標を達成するための追い風になることを期待いたします。障害雇用を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。障害者雇用の現場で奔走する私たち支援者は、個々のニーズや時代の流れを的確に捉え、今年度も障害者雇用の促進を図るべく邁進していきたいと思います。

仲間と共に

桜の里 所長 江部純子

私が入社してから今年度で20年目を迎えます、その間に福祉の制度は目まぐるしく変革してきました。『措置制度』、『支援費制度』、『障害者自立支援法』そして、現在の制度『総合支援法』。ご利用者やご家族にとっては何がどう変わったのかとてもわかりづらいのではないかと思います。でも、いつの時代もご利用者やご家族が施設に求めるものは変わらないと思っています。そこで、私たちは私たちが課せられた役割を理解し、よりよいサービスをご提供していくこと、そして、みなさんの声を、思いを聞き感じ取っていくことを大事にしていきたいと思っています。開所4年目を迎えた桜の里ですが、いつでも暖かく、居心地の良い場所であるようにみんなで力を合わせていきたいと思います。一人では何もできない。仲間がいるから今があるのだと思います。今年度もよろしくお願ひいたします。

変化と決断の年

児童デイセンターこすもす 所長 押元 昇

新年度を迎える「こすもす」では今年は何人のご家族と新しく出会うことができるか胸膨らませる季節です。

昨年までは、この安房地域に1つだけの児童に対する福祉施設でしたが、今年は館山市と南房総市の2つの放課後等デイサービス事業所と、南房総市に児童の入所施設が開設されるとの話が昨年から聞かれています。この安房地域で児童支援が充実することは喜ばしいことです。「こすもす」はこれまでと同じく、「ご家族に必要とされるセンターで有り続けたい」という思いで、ご利用していただくご家族に対し、より良いサービス、支援ができるよう努めてまいりたいと思います。

今年で「こすもす」は開所し8年目を迎えることができました。これは各関係機関やご利用されるご家族のご理解とご協力と感謝申し上げます。今後も現状に満足することなく常に前を向き小さな歩幅の一歩となりますが着実に前進できるよう、職員一同力を合わせ「笑顔」を広げて行きたいと思います。

ワークホーム 依託班です。

中里ワークホーム 支援員 相川 宏

円高、株安が進み、日本は不景氣であるという景況感でいっぱいの昨今ですが、我がワークホームの依託班では、毎日が分割み、秒刻みの作業が続いている。『1つ完成させるまで〇〇秒、それを明日までに4000箱』…。こんな計算が毎日続いているが、何度も失敗してもお仕事が頂ける環境に感謝しつつ、皆さん頑張っています。

早く正確に、そして丁寧にをモットーに、チーム中里で頑張っていきます。今後が非常に楽しみです。



昨年、当法人に対して館山市山荻の故鈴木忠雄様から建物と土地を寄付していただきました。また更に本年3月にその改修費として700万円の寄付を賜りました。

そこで本年度、中里の活動場所のひとつとして活用させていただこうため、現在改修工事を実施しております。建物は96m²の平屋建てで中里から車で約20分のところにあります。自然に囲まれ、とても静かな環境にありますので、落ち着いた生活環境や個別の支援を提供する場所としていきたいと考えてあります。また、畠もあり、野菜や果樹の栽培も予定しております。これからお世話になる山荻地区の

より自分らしく！

中里の家 次長 鎌田 浩幸

中里では3名の新しいスタッフを加え、平成28年度がスタートしました。

今年度の大きな取り組みとしては、従来までの支援体制に新たに「個別支援班」を設置し、現在館山市山荻地区にて改修工事を行っている建物（山荻の家）にて集団での活動や支援が苦手な方々を対象に少人数での支援を展開し安定し充実した生活が送れるようにサポートする班を立ち上げました。8月ぐらいから本格的に活動が開始される予定です。

また、中里の家全体では、利用されている全ての方々が、「その人が、より自分らしく暮らせるように」を基本に安全・安心で健康に生活できるように、衛生的な環境を整えると共に利用されている方々に気持ち良く生活していく様に活動・余暇共に充実したサービスの提供を心掛けてまいります。

また、障害福祉に従事する職員一人ひとりが、多様に変化する時代の流れに逆らうことなく、今の時代に求められている、課題およびニーズを的確に受け止め、各セクション同士が連携することが重要だと考えます。

今後も、法人の理念でもある「自他相愛」の精神で親切丁寧で笑顔いっぱいの職場を目指して行きたいと思います。

山荻の家

「山荻の家」改修工事

中里の家施設長 嶋山 正昭

皆様にもご理解をいただけるよう積極的に交流を図っていきたいと思います。今後、中里の家の活動拠点のひとつとして様々な取り組みを考え、利用者の方々が楽しく過ごしていただける場所にしていきたいと思います。



にじのかけはし

中里の家

職員研修

支援員 榎本 飛鳥

5月3日に、施設内研修を行いました。テーマとして初めに、強度行動障害について映像を観ながら学びました。中里の家では、今年度より個別支援班という班が新しく加わりました。主に自閉症の方、また他の方々と上手くコミュニケーションが取れず、集団生活になかなか馴染めない利用者さんを対象にしてあります。

行動障害がある方への支援で重要な事は、まず、利用者さんへの環境整備が重要であり、生活の場、作業の場と分ける事で日常生活においてもメリハリが生まれると思います。

活動への参加が難しい利用者さんに 대해서は、声掛けだけで応じて頂けず諦めてしまうのではなく、見通し立て、動機づけをする事で、一歩踏み出せるのではないかと思います。その行動を当たり前と捉えず、職員も利用者さんへのアプローチの仕方を、これを機に考えていかなければならぬと思いました。



▲野菜の組合せ

中里の家

個別支援班紹介

支援員 安西 裕介

中里の家では、今年度、新たな取り組みとして障害特性に配慮した個別化を図り、その方の得意なことを活かした活動を行うことで、安定かつ充実した生活が送れるように個別指導班を編成しました。

活動内容としては、運動や余暇の他に、自立課題という作業的な要素の内容を取り入れ、型はめや色合わせなど様々な物を作成し行っています。得意なことを活かした内容なので皆、集中して取り組むこ



▲ジグソーパズル

中里
ワークホーム

作付8ヘクタール

支援員 中田 真樹

4月25日朝、快晴。今年もやつてきました田植え初日。例年だと10日程で終了する予定ですが、今年はなんと植え付け総面積8ヘクタール!!あれ?ピンときてないですか?8ヘクタールというと東京ドーム約2個分です。そんなわけで今年は2週間の長丁場で田植えを行いました。真っ直ぐいかないのはご愛嬌ですが、田んぼの四隅はみんなで手植え。秋の豊作を願いながら一生懸命頑張りました。これから草刈りや水の管理と大変ですが9月には美味しい新米を食べたいと思います。



中里の家

サークルを見に行こう！

支援員 高橋 麻衣

5月17日、ポップサークルが市原にて公演を行うと
いうことで、千葉県社会福祉協議会様よりご招待を頂き、
利用者さん17名・職員6名にて見学させていただきました。
当日はあいにくの雨模様…いや、嵐に近い悪天候。
しかしー前日に最後の神頼みと、てるてる坊主を作った
おかげか、バスからの移動時には雨が弱まるという奇跡
を生み出しました。（流石てるてるパワーノー！）サークル
公演が始まり、会場内には驚きの絶叫と溢れんばかりの
拍手、そして「ブラボー」と湧き上がる歓声、あとぼけビ
エロに誰もが爆笑、気がつくと皆で夢中になってしま
た。時にスリリングな技に手汗をかき「あーいね！スゴイ
ネ！」の連発でした。一方その隣では「人が飛んでるねエ」
と冷静な一言も聞かれましたが（笑）「是非また見たい！」
と思うほどの素晴らしい公演でした。皆さんにもお勧めしたい
と思います。これから公演へ行かれの方もいらっしゃる
思いますので、詳しい演技内容について
は控えさせていただきましょー！…どうで
す？よけいに見たく
なりませんか？（笑）



▲また見たいなあ♪



▲ドイツ村の前で顔出しパネルで笑顔が見られました。

一日を通して、利用者の方々の楽しそうな表情を見せて頂きました。職員含め全員で楽しむことができました。…どうで

5月17日、ポップサークルが市原にて公演を行った
ことで、千葉県社会福祉協議会様よりご招待を頂き、
利用者さん17名・職員6名にて見学させていただきました。
当日はあいにくの雨模様…いや、嵐に近い悪天候。
しかしー前日に最後の神頼みと、てるてる坊主を作った
おかげか、バスからの移動時には雨が弱まるという奇跡
を生み出しました。（流石てるてるパワーノー！）サークル
公演が始まり、会場内には驚きの絶叫と溢れんばかりの
拍手、そして「ブラボー」と湧き上がる歓声、あとぼけビ
エロに誰もが爆笑、気がつくと皆で夢中になってしま
た。時にスリリングな技に手汗をかき「あーいね！スゴイ
ネ！」の連発でした。一方その隣では「人が飛んでるねエ」
と冷静な一言も聞かれましたが（笑）「是非また見たい！」
と思うほどの素晴らしい公演でした。皆さんにもお勧めしたい
と思います。これから公演へ行かれの方もいらっしゃる
思いますので、詳しい演技内容について
は控えさせていただきましょー！…どうで

5月31日、稼働班1日余暇外出で東京
ドイツ村に行ってきました。外出当日天
候は朝方すこし雨が降っていたが、東京
ドイツ村に着いた時には晴間がのぞいて
きました。
昼食のバーベキューの時間まであい
だ、利用者さん達はおみやげ屋に行つて
みんなで移動し早速今日のお楽しみ。
者さん、「おいしい、おいしい」と笑顔
で肉、野菜等を食べられお腹いっぱいの
様子。

1日を通して、利用者の方々の楽しそうな表情を見せて頂きました。職員含め全員で楽しむことができました。…どうで

5月23日、
生活班グループ
外出にて、
千葉ポート
パークビーチ
プラザの潮干
狩りを体験しま
した。



▲潮干狩り 楽しい!!

中里の家

稼働班1日余暇外出

支援員 松下茉由香

1日を通して、利用者の方々の楽しそうな表情を見せて頂きました。職員含め全員で楽しむことができました。…どうで

5月23日、
生活班グループ
外出にて、
千葉ポート
パークビーチ
プラザの潮干
狩りを体験しま
した。
海岸へ到着す
ると、利用者
の方々は「貝をたくさん取るぞー！」と
言わんばかりに張り切っていました。
皆、バケツやくまでを持ち大勢の人で
賑わっている海へ入ると、皆しゃがみ
込んで一生懸命に貝を探していました。
砂の中を掘っていくと、「コツン」と
何かが当たって引っかかるような感
触が…と思い見てみると貝を発見！
「あつたよーー」と嬉しそうな笑顔が
見られとても喜んでいました。皆さん
初めての体験でしたが、宝探しのよう
に夢中になりました。皆さん
が取ってきた貝は後日、酒蒸しにして
全員で仲良く食べ、「美味しい！」
と大好評でした。

中里の家

潮干狩り

支援員 齋藤 沙也加

中里の家



▲紅組まけるな



▲パン早く食べたいな

5月25日に中里の家施設グラウンドにて第7回レクリエーション大会を行いました。この日のためにコンディションを整え、いざ当日、利用者さんや職員とともにごとの競技にも一生懸命に競い合いました。

パン喰い競争はクリームパンかあんパンを選べるひともあり、われ先にと手をのばしました。(あこしゃく)ただきました。(笑)

最終競技は10年ぶり復活の綱引き!! 紅白に分かれて、負けるものかと一丸に「コイシヨー! キシヨー!」と大きな声をかけ、力いっぱい引き合いました。

天候の心配もありましたが、楽しさ多くの笑顔にあふれた一日を過ごすことができました。

今回のみんなで電車に乗つてみようは、つくしんぼうラス初の企画でした。この日の経験が糧になり、いつかまた楽しく電車に乗れる日が訪れるよう、私たちもご利用者の皆様と色々な事に挑戦し、楽しい思い出を重ね、保護者の皆様と一緒にあ子様達の成長を見届けられたらうれしいと思いました。

第7回 レクリエーション大会!!

支援員 山下 和博



▲さあー!! 出発!!

支援員 斎藤 伸枝

5月26日、つくしんぼうラスは、千倉駅から館山駅まで電車に乗りました。初めて電車に乗るお子様もいらっしゃり、保護者の方々も期待と不安の中じや乗車!! 社内では、電車の揺れが心地よく眠ってしまうお子様や、車窓からの風景を楽しんでいるお子様、泣いてしまうお子様、それぞれの姿が見られました。

これから夏野菜もじんじん充実してきます。鈴木さんの朝採り完熟トマトは納品と同時に完売してしまうほどの大人気商品! ぜひ、お買い求め下さい。また、7月には「あさがお・ほおづき市」も開催しました。皆様のご来店心よりお待ちしております。

ふれあい
ショップ
平砂浦

地域と関わる事の大切さ

支援員 大出 貴博



▲看板娘があ待ちしています

住 所
館山市大神宮152番地1
電 話
0470-28-3111
営 業 時 間
9:00~17:00

新車両購入しました

昨年度の3月に、日本財団の福祉車両整備事業により助成金を頂戴し、車両の整備をさせて頂きました。車椅子仕様のため児童の学校への迎えやこすもすに到着した際にスムーズかつ安全に車の乗り降りが可能となりました。

車両名 日産キャラバン(車椅子仕様車)
総事業費 3,068,000円
助成金額 2,450,000円
法人負担金 618,000円

和麺家中里
新メニュー登場!!

天花もりそばはじめました

暑い日が続く今日この頃…。

冷たいあさりが美味しい季節ですね。そんな時は和麺家中里のおさり、うどんはいかがでしょうか。新メニューとして「天花もりそば」をはじめました。上から見ると…花に見えませんか?中央にある卵黄が冷たいあさりと相性抜群です!期間限定で、「冷やし肉そば」「夏野菜の素揚げそば」他にも様々なメニューをご用意しております。

平日・祝日のランチに是非、和麺家中里へお越しください。スタッフ一同よりお待ちしております。



営業時間 月~金
開店 午前11時45分~
閉店 午後1時30分
(祝日も営業しております)

▲天花もりそば

新職員紹介



中里の家
支援員 相川 宏



中里ワークホーム
支援員 荒井喜世人



中里の家
看護師 山口 聖世

4月より中里ワークホーム製麺班で勤務させて頂く事になりました荒井と申します。福祉の仕事を初めてですが、今までの経験を少しでも活かして利用者さんの力になれる様仕事を覚えていきたいと思いますので、ご指導のほど宜しくお願ひ致します。



中里ワークホーム
事務員 狩野 智子

7月よりお世話になることになりました。笑顔がある活気のある職場で皆さんと一緒に仕事をできることをとても嬉しく思います。

仕事に関しては、一から教えて頂くことばかりで、ご迷惑をおかけすることもあるかと思います。

一日も早く仕事を覚えられるよう頑張りますので、ご指導の程宜しくお願いします。



中里の家
世話人 薮三枝子

はじめまして。看護師の山口聖世といいます。家庭では一人の娘を持つ母をしております。毎日が忙しく、あつという間に過ぎていく時間の中で、私が大切に考えていることは人との繋がりを大切にすることです。「他人に寄り添う看護」これは私が18年という看護師経験の中で培ってきた看護観でもあります。今まで病院での経験がほとんどのでしたが、こちらではまた違った視点で、自分を高められていただけ思っています。よろしくお願ひします。



中里の家
支援員 能重 学

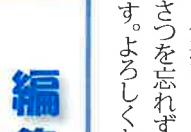


中里の家
支援員 上野 由衣

4月26日より支援員として中里の家に勤務することになりました上野由衣と申します。

初めて携わる仕事で覚えることばかりですが、職員の方々や利用者の皆さんに助けていただきながら、たくさんの事を学んでいます。

みなさんにご迷惑をかける事もあると思いますが、一生懸命頑張りますので、今後ともよろしくお願ひします。



中里の家
編集後記

暑さが身にしみる頃となりましたが、皆様お元気にお過ごしです。『にじのかけはし』発刊にあたり、見やすく楽しい、内容が盛りだくさんで皆様にお届けできたらと思います。ご意見・ご感想がありましたら、広報委員会までお寄せください。次回の『にじのかけはし』もお楽しみに! (齋藤)